



# しいば川

第8号

令和3年6月24日  
嬉野市立轟小学校  
文責 校長 宮崎 耕一



## 学校教育目標

轟小学校ホームページ



夢を持ち、ふるさとを愛し、生き生きと学ぶ轟っ子の育成  
～高い志を持つ、持続可能な社会の創り手とするために～

し っかり学ぶ

い たわる心をもつ

バ ランスの良い体をつくる

- ・自ら学び〔取り組み〕考える子
- ・真剣に学ぶ〔取り組む〕子
- ・自分の思いを表現する子

- ・自他を尊重し、思いやりのある子
- ・感動し、感謝する子
- ・ルールやマナーを守る子

- ・進んで運動する子
- ・チャレンジできる逞しい子
- ・心も体も健康な子

## 6月は食育月間です。



6月も後半になりましたが、毎年6月は子どもたちの成長にとり重要な役割を担う「食」への感謝や「食」に関する知識、望ましい食習慣を身につけることなどを目的に様々な取組が行われる「食育月間」です。本校でも、田植えや芋差し、郷土料理の紹介、調理実習、生活リズムを整える指導など、学年に応じた取組を行っています。

また、前号の「しいば川」でお知らせしてまいりましたとおり、今年度の学校評価の重点取組の一つに、

### ◎ 望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成

を掲げ、成果指標〔数値目標〕として、

### ○ 健康のために食事は大切であるとする児童90%以上

を目指して取り組んでいます。

あと1週間ほどで6月は終わりますが、毎月19日は、自分や家族の食生活を見直す「食育の日」とされてもいます。皆さまの御家庭でも、「食育月間」や「食育の日」を機会に、食への感謝や食べることの重要性、食を通じて生活のリズムを整えることなどについて、それぞれの御家庭の状況に応じて改めてお子様と話をされたり、一緒に取り組んだりされてはいかがでしょうか。

その参考として、国が推奨している食育で育てたい「食べる力」を右に掲載しています。

右にある6つの力をお子様が身につけることができるよう、

- ・一緒に食卓を囲み食べることや食材などの話をする
- ・「いただきます」「ごちそうさま」の意味を考える
- ・一緒に食事をつくって一緒に食べる
- ・早めに起き朝食をきちんと食べる

ことなどに取り組んでいただくこともいいでしょうし、お子様が高学年であれば、食品ロスや食料自給率について一緒に考えていただくことも大切なことと考えています。

子どもたちの身体と心の

両面の健全な成長に欠くことのできない食育、大人の責任ある役割を果たしていきたいものです。

### 食育で育てたい「食べる力」

- 心と身体の健康を維持できる
- 食事の重要性や楽しさを理解する
- 食べ物の選択や食事づくりができる
- 一緒に食べたい人がいる(社会性)
- 日本の食文化を理解し伝えることができる
- 食べ物やつくる人への感謝の心

食べる意欲の基礎をつくり、食の体験を広げる

食の体験を深め自分らしい食生活を實現する

健全な食生活を實踐し次世代へ伝える

食を通じた豊かな生活食文化や食の知識・体験を次世代に伝える





# 個別、最適な学習活動を行うために

嬉野市内の全小中学校に学習用タブレットが整備されました。まずは4年生以上の子どもの数の台数ですが、今年度中には1～3年生の子どもの分も整備される予定になっています。

6月1日(火)、嬉野市教育委員会の副島情報教育指導員を講師とし、本校教職員による1回めの研修会を行いました。このような研修会を定期的に行いながら指導者のスキルアップを図ることで、子どもたち一人一人に応じた【個別】最も望ましい【最適な】学習活動が行える指導体制づくりに努めていきます。



## お話応援団の皆さま ありがとうございます!

読み聞かせボランティア「お話応援団」の皆さまによる今年度の子どもたちへの読み聞かせが、6月3日(木)から始まりました。

来年の3月3日(木)までの間に計29回、木曜日の朝の時間、毎回、趣向を凝らしながら子どもたちに読み聞かせをしていただきます。

朝の多忙な時間帯にもかかわらずボランティアとして御協力いただいている22人の皆さま、ほんとうにありがとうございます。子どもたちはとても楽しみにしていますので、1年間どうぞよろしくお願いいたします。



## 5年生田植え体験



6月4日(金)、5年生が総合的な学習の時間に『嬉野学』の取組として、田植え体験を行いました。

毎年度、稲作の実習田として運動場の東隣りにある田んぼを貸してくださっている、下岩屋一区の太田サチエ様の御厚意により実現をしている体験活動です。

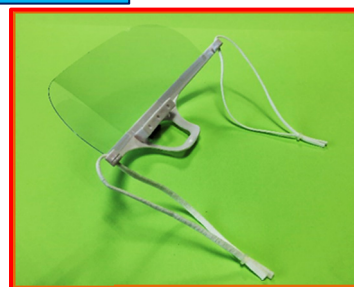
ほとんどの子どもたちが初めての経験であり、足元がぬかるお中、最初はおぼつかない手つきで悪戦苦闘をしていましたが、JAの森様他お一人の御指導をいただきながら段々と慣れて、思いのほか上手に植えきることができました。

ほんのさわりではありましたが、子どもたちは農作業のたいへんさを実感するとともに、達成感を味わっていました。



## クリアマウスシールド【透明マスク】について

3年生以上の保護者の皆さまには既に御案内していますが、現在、校舎内では必ずマスクを着用【体育の授業は別ですが…】することにしていますが、気温の上昇などに伴う熱中症リスクを軽減するために、保護者の皆さまの御判断で希望する子どもには写真のクリアマウスシールド【透明マスク】を使用できるよう準備をしています。



実物は若干異なります…

5月上旬にこのことをお知らせした時点では、気温の上昇はそれほどでもなく、また、県内の感染確認者数がピークを迎えたころでもありましたので、判断に迷われたところもあったのではないかと考えています。

しかし、その後、気温が30℃を大きく超え、湿度もかなり高い日が続いていますので、エアコンをつけた教室内であっても、マスクが汗で湿ったり息苦しさを感じたりしている子どももいるようです。また、5月上旬に比べると県内の感染状況も落ち着きを見せており、先週火曜日【15日】には感染レベルが最低の「ステージ1」になっています。

もちろん、使用を強制するものではありませんが、現在の状況を踏まえ改めて御検討いただき、お子様の使用を希望されるようであれば、連絡帳やお子様を通じて担任まで御連絡ください。

なお、1、2年生についても、担任の補助があれば3年生以上と同様に使用や管理は可能と考えていますので、クリアマウスシールド【透明マスク】の準備ができ次第、改めて御案内いたします。

